

庄原市田森自治振興区 地域振興計画書

キャッチフレーズ（地域の目標）
元気、輝き、温もりのある地域、田森



平成24（2012）年2月

田森自治振興区

はじめに

田森自治振興区は、地域課題の解決や、地域の夢の実現に向けて、住民総意による地域振興計画を、以下の通り作成します。

1. 地域の現状と課題

現在、「都市と地方」「地方と地域」の2極化構造や、中山間地域の疲弊や限界集落問題が指摘され、人口、人材の流出、経済所得の格差、少子高齢化等が急速に進展しつつあります。一方で、中山間地域には、都市部にはない豊かな自然、人情、地域循環型の生活空間など、魅力的な資源、空間が広がっています。都市部、中山間地域を問わず、国が取り組む行政改革と地方分権が進行する中、それぞれの地域の個性と特色を活かした、地域の自主自立の力量が、今、問われています。今後、中山間地域においては、様々な要素や環境条件を踏まえ、住民一人ひとりが主体的に地域づくりに取り組んでいくことが、求められています。

田森自治振興区は、平成 17 年に誕生した新庄原市の東部、東城中心市街地に隣接し、平成 23 年 4 月末現在、人口 818 人、世帯 318 戸、自治会 5（旧自治振興区、竹森、粟田東、粟田中、粟田北、粟田南）をもって構成しています。平成 23 年度、5 つの旧自治振興区が解散、合併し、新たに田森自治振興区として発足しています。

当自治振興区は、東城町中心市街地に隣接し、比較的交通の利便性が高く、農業・畜産が盛んな農業地帯となっています。グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等のスポーツや、ふれあい祭り等の行事・イベントが盛んで、地区内には、東城温泉（リフレッシュハウス東城）や比婆荒神神楽などの広域的な資源にも恵まれています。

一方で、自治振興区の面積が広く、情報通信基盤や上水道などの生活基盤の整備の遅れがみられ、さらに、現在、65 歳以上の高齢化率は 44.1%に達し、若者世代のUターン者の少なさなどの課題が挙げられます。

このような課題を克服し、特色ある地域文化や魅力をさらに活性化し、失われた文化の掘りおこし、再生と変化を求めて地域振興を図っていくためには、大切なものが

失われて行く現状に気づき、一人ひとりが役割を果たしていくことができる、協調型社会の構築に努力していくことが重要です。そのため当自治振興区では、平成 17 年から 5 地区ごとに振興計画を策定し、区民のみなさんの期待に応えるべく活動をしてきました。

そして平成 23 年度、旧自治振興区の合併及び各計画の見直しを目的として全住民アンケート（高校生以上を対象、回収数 629 件、回収率 93.7%）を実施したほか、各自治会代表（自治会長）及び関係者で検討委員会を開催し、平成 24 年 2 月に計画の見直しを行ったところです。

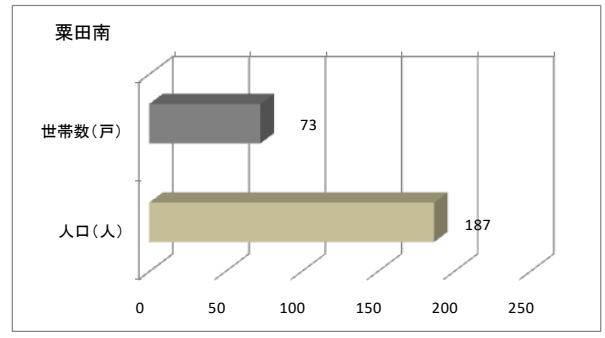
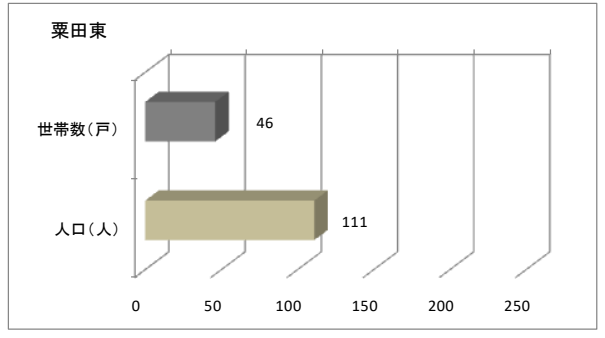
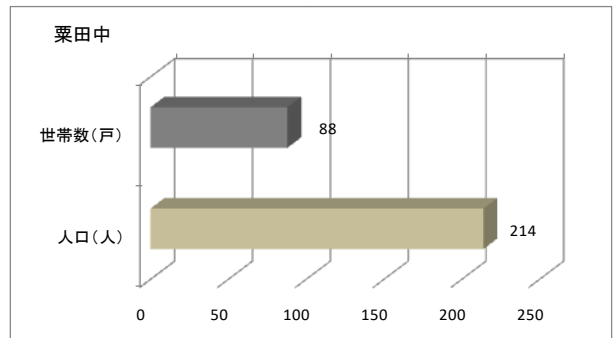
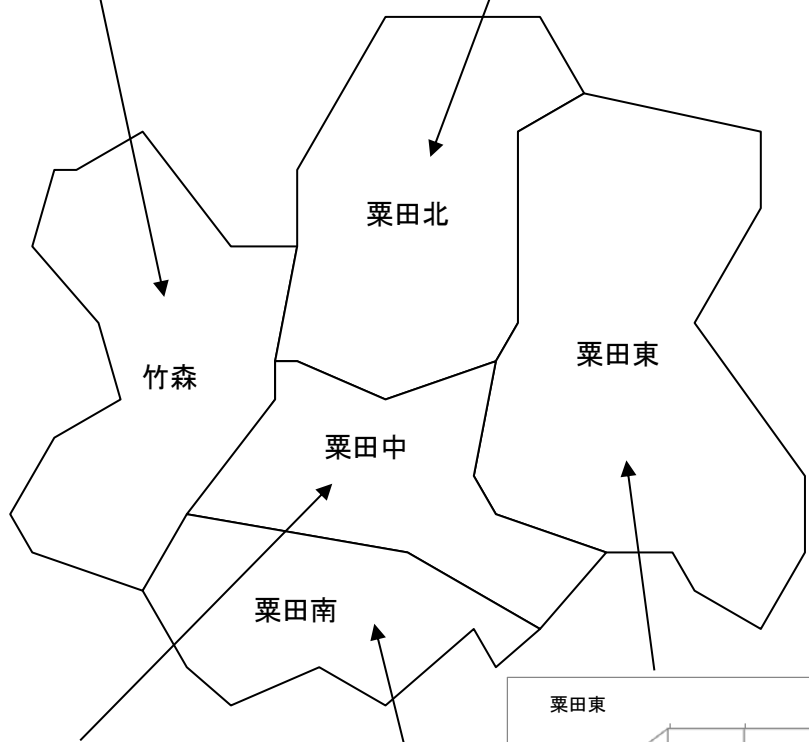
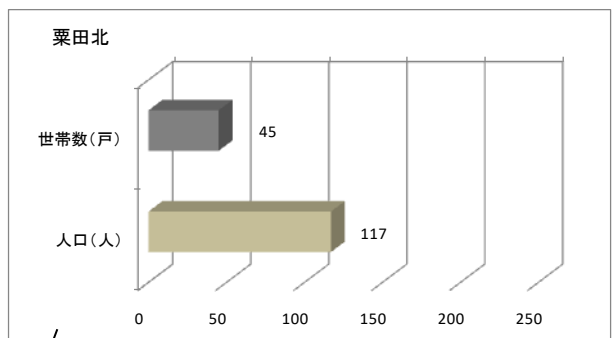
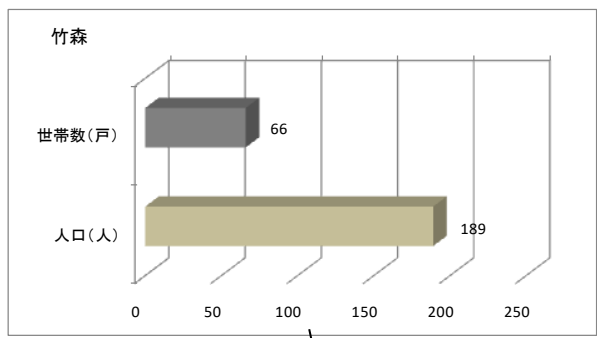
今後、一部見直しをした新たな『地域振興計画』に基づき、ますます活発な活動を展開いたします。

区民のみなさんの更なるご理解とご協力をお願いいたします。

田森自治振興区の位置



田森自治振興区の世帯、人口／計 318 戸、818 人



2. 地域の振興方針

(1) キャッチフレーズ（地域の目標）

元気、輝き、温もりのある地域、田森

(2) 地域づくりの方向性

田森自治振興区では、以下の4つの方向性を念頭においた地域づくりを推進します。

① 地域の特性にあった施策を推進し、自然との共生を進めます

住民アンケート調査では、本区の特徴として主要道路の利便性が高いことや、田園環境、東城温泉、比婆荒神神楽などの自然、温泉、伝統文化資源があることなどが挙げられています。今後の地域づくりは、地域の魅力と課題の両面を持つ地域の特性を踏まえ、多様な取り組みを推進します。

② たすけあい、温もりの風土を育てます

高齢化が進む本区では、安全に、安心して暮らせる地域社会を構築していくことが必要です。継続的に近隣世帯の声かけができる地域、高齢者を含む地区住民が気軽に参加できるよう、地域全体で高齢者を支える「たすけあい」の風土を育てる取り組みを推進します。

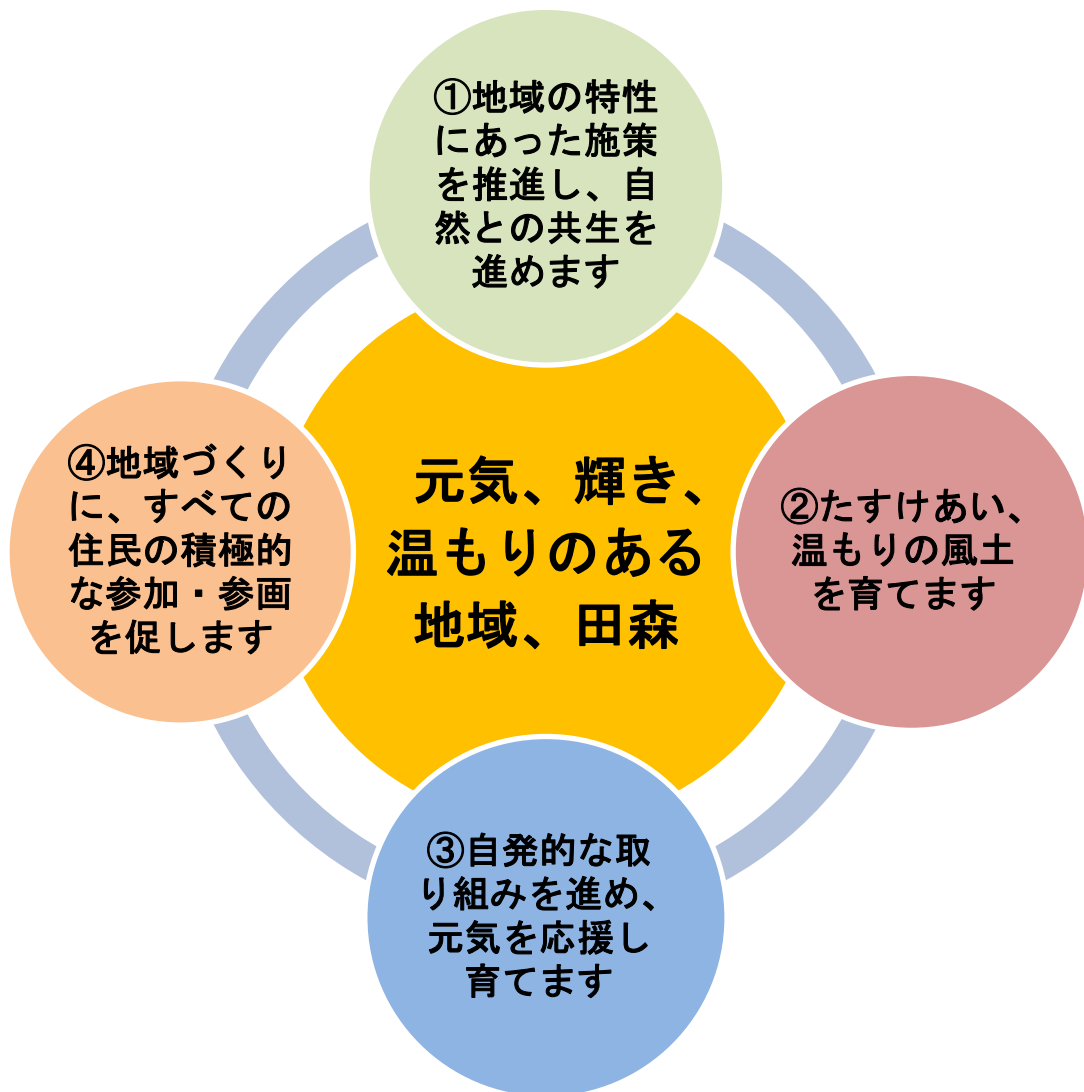
③ 自発的な取り組みを進め、元気を応援し育てます

地域の魅力は、そこに住んでいる一人ひとりが楽しく暮らしていることが基礎となります。自分の好きなこと、自分が楽しいと思うことを継続してできることが、よりよい地域づくりへとつながると考え、本区では、グラウンド・ゴルフやふれあい祭りなどに加えて、今後も住民発意の自発的な取り組みを積極的に応援・育成し、自由でのびのびとした地域づくりを推進します。

④ 地域づくりに、すべての住民の積極的な参加・参画を促します

本区では、子どもからお年寄りまで、誰もが「この地域に住んでよかった」と思える地域になるよう、多世代が参加できる地域全体の一大行事の実施や、

子どもから青年、高齢者などの世代ごとの取り組み、サークル活動、テーマに応じた活動など、より多くの地域住民が参加・参画できる地域づくりを推進します。



(3) 活動の柱と具体的な取組

① 自然との共生で元気な地域づくり

当地区は、米を中心とした農業地帯として発展してきました。その後背地には豊かな里山が広がっているなど、豊かな田園環境、自然環境に恵まれていることが大きな特徴です。

このため、田森自治振興区では、豊かな自然環境を次世代に継承していくとともに、自然環境と共生することで、当地区の魅力を発揮し、元気で活力ある地域づくりに繋げていきます。

基本方針	取り組み内容
ア. 美しい景観づくり活動の推進	延道や拠点施設を整備することにより、住民、観光客に対するイメージアップを図るとともに、参加を通じて住民の元気づくりに繋げていきます。
イ. 河川や里山の環境美化の推進	住民自ら楽しみながら、積極的な環境美化活動への参加を促します。
ウ. 地産地消活動の推進	地産地消活動や住民一人ひとりが参加しやすいように、身近な家庭菜園、農園の整備を進め、地域内外との交流を進めます。
エ. 地域のシンボル空間の整備	地域の古くからの由来・由来が残る、歴史・文化資源（遺跡等）の、再発見・継承、整備を進めます。

田森自治振興センターから望む田森地区の風景



② 協働で人が輝く地域づくり

当地区には、都市部で失われた住民一人ひとりの地域への愛着心が比較的残されています。一方で、核家族化、高齢化が進む中で、昔ながらの全員参加型の活動・取組もやや弱くなっている現状があります。

このため、当地区では、人口 800 人規模の適度の小規模振興区である特長を活かし、住民一人ひとりがそれぞれの役割を果たしていくことで、一人ひとりが、いきいきと輝く地域づくりを目指します。

基本方針	取り組み内容
ア. 住民交流活動の一層の促進	現在実施されている行事・イベントの更なる活性化を図り、地域内外住民との交流を進めます。
イ. スポーツ交流活動の一層の促進	現在盛んなスポーツ活動の取組を一層進めます。
ウ. 世代間交流事業の実施	地域からの転出世帯のUターンを促すため、世代間交流事業の積極的な展開を行います。
エ. 協働による地域福祉活動の促進	地域全体で、高齢者等の買物弱者、交通弱者など困っている人を支援する取組を進めます。



③ 安全、安心な温もりのある地域づくり

区民誰もが高齢化への不安を抱えているいま、地域でたすけあうしくみづくりが求められています。

高齢化に歯止めをかけ、若者が地域に住み続けたいと思えるような「魅力あるまち」にしていくため、自治振興区では安全で安心して暮らせる温もりのある地域社会づくりに取り組みます。

基本方針	取り組み内容
ア. 地域の安心安全の確保	地震や火災時の緊急連絡網、緊急避難場所の確認、自主防災組織の育成など、防災に関する取り組みを進めます。
イ. 住民同士による支え合い活動の実施	地域全体として、不安・心配を抱える高齢者を支援するため、可能な限りの取組を進めます。
ウ. 暮らしやすい生活基盤の充実	インターネットや携帯電話の通話地域の拡大、上水道の確保等、情報通信、生活基盤の整備を促進します。



④ 伝統文化の薫る地域づくり

地域には比婆荒神神楽をはじめ、古くからすばらしい伝統文化が育まれ維持継承されてきました。この地域の伝統文化は、多くの先人の苦勞と努力によって形成され、地域の発展に大きな役割を果たしてきたものです。

このため、当地区では、自治会とともに地域の伝統文化の継承と発展に寄与していくための事業を推進します。

基本方針	取り組み内容
ア. 地域のイメージアップの強化	地域外に向けた情報発信、地域での一体感を醸成するため、案内看板、誘導看板などの表示の設置を検討します。
イ. 比婆荒神神楽の里づくり	神楽の里としての情報発信を行います。
ウ. イベント等による伝統文化の継承	年間の開催計画に基づき、イベント等を開催し、人材育成を図り、伝統文化の継承を進めます。
エ. 伝統文化による地域の活性化	情報発信や地域の拠点となる施設や製品の開発整備を進めます。

地域の宝である、比婆荒神神楽

